

授業科目名	教育課程論	教員名	遠藤 宏美	免許・資格との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
授業形態	講義	担当形態	単独		保育士	
科目番号	SID208	配当年次	2年前期	卒業要件	こども音楽療育士	
単位数	2単位				小幼コース	必修
科目	教育の基礎的理解に関する科目（幼稚園及び小学校）					
施行規則に定める科目区分又は事項等	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）					
一般目標	<p>教育水準の維持及び質の向上に資する教育課程の編成と実施及び評価について理解するとともに、教育課程を編成する際の具体的な指導計画の作成と評価及び改善等について、演習を交えながら理解を深めることができる。</p> <p>(1)教育課程の意義 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。</p> <p>(2)教育課程の編成の方法 教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。</p> <p>(3)カリキュラム・マネジメント 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。</p>					
到達目標	<p>(1)教育課程の意義</p> <p>1)学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的を理解している。</p> <p>2)学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景を理解している。</p> <p>3)教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解している。</p> <p>(2)教育課程の編成の方法</p> <p>1)教育課程編成の基本原理を理解している。</p> <p>2)教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示することができる。</p> <p>3)単元・学期・学年をまたいだ長期的な視野から、また幼児、児童及び生徒や学校・地域の実態を踏まえて教育課程や指導計画を検討することの重要性を理解している。</p> <p>(3)カリキュラム・マネジメント</p> <p>1)学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。</p> <p>2)カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。</p>					
授業の概要	<p>「教育課程」とは、単なる「教育の計画」としてだけではなく、さまざまな教育問題を抱える今日において大きな影響力を持ちうる複雑で広い営みである。この科目では、主に以下の3点についての授業を行う。(1)または(3)の講義を通常の授業で、オンデマンド教材を用いた(2)の講義を授業外の学修として行う。</p> <p>(1)教育課程の意義・役割と、教育課程の編成の方法に関する基本的な知識</p> <p>(2)日本の学校教育カリキュラムの変遷と、それぞれの時代の社会背景</p> <p>(3)教育課程にまつわる今日的な課題（カリキュラム・マネジメントを含む）</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5.教育実践力を身につけている」「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション 教育課程・カリキュラム・学習指導要領とは何か。（目標(1)-1, 3)）</p> <p>第2回：教育課程編成の基本原理（1） 教育課程の基本的な考え方（目標(2)-1）／近代的人間像を目指したカリキュラム（目標(1)-</p>					

	<p>2))</p> <p>第3回：教育課程編成の方法とカリキュラム・マネジメント（1） 時間のマネジメント（目標(2)-1), 3), (3)-1)) / 明治初期のカリキュラム（目標(1)-2))</p> <p>第4回：教育課程編成の方法とカリキュラム・マネジメント（2） 教職員のマネジメント（目標(2)-1), 3), (3)-1)) / 教育勅語のカリキュラムへの影響（目標(1)-2))</p> <p>第5回：教育課程編成の方法とカリキュラム・マネジメント（3） 学習集団のマネジメント（目標(2)-1), 3)) / 産業革命とカリキュラム（目標(1)-2))</p> <p>第6回：教育課程編成の方法とカリキュラム・マネジメント（4） 教材の選択と使用（目標(1)-1), (2)-3)) / 国民学校時代のカリキュラム（目標(1)-2))</p> <p>第7回：カリキュラム評価（1） 評価の形式と制度（目標(3)-2)) / 戦後民主主義を支えたカリキュラム（目標(1)-2))</p> <p>第8回：カリキュラム評価（2） 評価の種類と歴史（目標(3)-2)) / 経済復興に寄与したカリキュラム（目標(1)-2))</p> <p>第9回：カリキュラム評価（3） 新しい評価（目標(3)-2)) / 高度経済成長期のカリキュラム（目標(1)-2))</p> <p>第10回：教育課程の社会的役割（1） 隠れたカリキュラム（目標(1)-3)) / 成熟社会へ向かうカリキュラム（目標(1)-2))</p> <p>第11回：教育課程の社会的役割（2） 家庭・社会とカリキュラム（目標(1)-3)) / 生涯学習時代のカリキュラム（目標(1)-2))</p> <p>第12回：教育課程編成の基本原則（2） カリキュラムの類型と構造（目標(2)-1), 2)) / 「生きる力」と情報化社会のカリキュラム（目標(1)-2))</p> <p>第13回：教育課程編成の方法（5） 教育課程と教育制度をめぐるさまざまな課題（目標(2)-2), 3) / 知識基盤社会のカリキュラム（目標(1)-2))</p> <p>第14回：新しい時代へ向かうカリキュラム（目標(1)-2))</p> <p>第15回：学校教育全体を見据えたカリキュラム・マネジメントの在り方、まとめ（目標(1)-1), 3), (2)-1), (3)-1))</p> <p>期末試験</p>
学生に対する評価	<p>期末試験70%、授業後のリアクションペーパー30%とし、総合的に評価する。</p> <p>リアクションペーパーへの質問・感想については、次の回の授業で回答・解説を行うなどのフィードバックを行う。</p>
時間外の学習について	<p>（事前・事後学習として週4時間以上行うこと。）</p> <p>事前学習：テキストの関連する箇所を読みこみ、不明な点についてはあらかじめ調べておく。</p> <p>事後学習：講義の内容を確認し定着を図るとともに、オンデマンド教材を視聴し、内容をまとめる。</p>
テキスト	<p>『小学校学習指導要領（平成29年告示）』</p> <p>『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』</p>
参考書・参考資料等	<p>水原克敏・高田文子・遠藤宏美・八木美保子『学習指導要領は国民形成の設計書（新訂版）』 東北大学出版会 2018年</p> <p>『平成29年改訂 幼稚園教育要領』</p> <p>『幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年告示）』</p> <p>授業中に適宜、参考文献や資料を紹介する。</p>
担当者からのメッセージ	<p>特になし</p>
オフィスアワー	<p>授業の前後の時間。それ以外の場合にはメールでアポイントを取ること。</p>